西東京市市民協働推進センター

平成30年度第3回運営委員会会議録（確定稿）

■開催日時：平成30年6月19日(火)午後7時00分～9時00分
■開催場所：イングビル3階第1、2会議室
■出席委員：海老澤委員、古林委員、櫻井委員、佐藤(文)委員、佐藤(留)委員、鈴木委員＜以上6名、五十音順＞
■事務局　：小松センター長、鈴木副センター長、山田地域福祉推進課係長

1.報　告　事　項

1.業務報告について

事務局より、5月期の主催事業、ホームページアクセス数、新規登録団体、市民活動相談の状況について説明があった。

委員長：地域連携促進事業に「武蔵野大学」とあるがどのようなことか。

委　員：私が受け持っている学生をお願いした。本格的に福祉の学びをしていく中で、地域の現場で働くソーシャルワーカーの話を聞く実習を取り入れている。今年度はゆめこらぼにお願いした。

委員長：市内の児童館のキャンプに毎年サポーターの公募をしているが、武蔵野大学の学生が参加している。

委　員：学生も座学が多く、知識はあるが、地域資源の活用等、学外での学びも推奨している。

委　員：ほっとネットとはなにか。集会室があるのか。

事務局：ほっとネットは西東京市からの委託を受けている事業で、4名の職員が担当している。ほっとネットが集会室を持っているのではなく、社会福祉協議会の地域活動拠点が8カ所あり地域の活動を支援する目的で貸し出しをしている。

2. 6月以降の事業について

事務局より、6月以降の実施事業について説明があった。

委　員：ゆめサロンのまちめぐりの参加者は何名だったのか。

事務局：募集人員の15名の参加があった。

委　員：どんな方が参加されたのか。

事務局：60歳代以降かと思うが、地域の居場所を手伝いたい、自宅を居場所にしたい、居場所に参加したいという方々が、実際の現場を見学したいということで申し込みがあった。

委　員：ニーズに合った企画で良かったと思う。

委　員：NPO市民フェスティバル実行委員会は何名集まったか。

事務局：6月28日に第1回の実行委員会が開催されるか、現在、20名だ。

委　員：どんな理由で応募しているのか。年代はどうか。

事務局：登録団体の方だ。年齢は高い。今までNPO市民フェスティバルの参加はしていたが、運営にはかかわっていなかったが、今回は実行委員として関わりたいとのことだ。また、半数が今回初めて実行委員になった方だ。

委　員：同じ団体で何名か参加しているのか。

事務局：1団体1名だ。

委　員：1団体1名であれば、団体間の交流にもつながるし、とても良い。
事務局：学生ボランテイア募集のポスターを見て、登録団体の方が当日ボランテイアで手伝いたいとの申し出もあった。
事務局：NPO市民フェスティバルには参加するだけの「お客様」であった団体が、面白そうだと思い、運営にも興味を持ってもらえたのではないか。
委員長：以前は集めるのに苦労していたが、おとぱ&ミディが連動し、この世代の方にとっては魅力があるのではないか。
委　員：平日の4時～5時の時間帯もよいのかもしれない。
委　員：男女比はどうか。
事務局：およそ半々である。

2. 審　議　事　項

1. 前回の会議録について

委員長：質問、意見が特にないのであれば、前回の会議録は確定稿とする。

3. 協　議　事　項

1. センターの業務の執行に関する事項（重要事業の企画）について

事務局より、NPOパワーアップ講座「知って得する―NPO法人と一般社団法人―」（企画案）について説明があった。

委　員：募集人員は何名か。
事務局：募集は30名だが、会場は40名入るので消防法に従って対応する予定だ。
委　員：基本的に市内の団体か。
事務局：市外も受け入れている。
委　員：議題の順番は講師が決定したのか。
事務局：詳しくは詰めてはいないが、この順番でお願いしている。
委員長：NPO法人と一般社団法人の2つに絞った理由はあるのか。
事務局：実際に相談や問い合わせがあったこと、他の中間支援組織との情報共有の中でも、この2つに特化した相談やセミナーもあるので決定した。
副委員長：広報はどうするのか。
事務局：市報掲載、チラシ、情報誌への掲載を予定している。市報掲載は9月15日号の予定だ。
委　員：対象は団体だけではなく、これからNPOを立上げようという個人もいるので、対象を広げてはどうか。
委員長：認定NPO法人の話もあるのか。
事務局：現時点では考えていないが、申込のメンバーを見ながら講師と相談したい。
委　員：NPO法人と一般社団であっても、認定も含めた話はあると思う。すでにNPO法人であっても乗り換えを考えるときに社団か認定かの視点もある。
事務局：その辺りも含めて詰めていく。
委　員：講座の流れだが、3番目が抽象度の高い話であるなら前段で話す方が流れとしては良いのではないか。3番の団体が法人化を目指すことが必要かとあるが、必要ではないという話なのか、

なぜ必要なのかということを目指した方が良いという話であれば前段がよいように思うが、3番目にしている理由はあるのか。

事務局：講師とは詳細についての打ち合わせはまだだが、3番目は流れを組み立てる中でも議論はあった。団体が法人化を目指すことが必要かどうかは、法人格を取る事がベストではないこともある。目指す目的を団体の中で話合うことも大切だということを3番目に盛り込む予定だ。

委　員：参加費はいくらか。

事務局：無料だ。

委　員：こういう講座は日本NPOでも開催していると思うが、ニーズはどうか。

事務局：ニーズはある。NPO法人か一般社団かについては、お金に絡む話が多いが、今回は市民活動をしていくうえでの団体の意義なども含めて話して欲しいと依頼している。

委員長：意見を取り入れて進めて欲しい。

委　員：チラシはいつ出来上がるのか。この会議で確認できるのか。

事務局：8月に運営委員会はなく、7月中の作成は難しい。9月の運営委員会では完成しているものになる。

2.NPOを支援する事業・企画について（フリーディスカッション）

事務局よりNPOを支援する事業・企画の現状と進め方（案）について説明があった。

委員長：自主企画については話し合いが続いているが、第一段階として呼びかけの案内文の意見をお願いする。

委　員: 分かりやすくなったと感じる。今までにない感じの始まり方なので響く人には響くと思う。字は多いが、ある程度説明は必要なので、タイトル、キャッチなど編集に工夫すればよくなるのではないか。

委　員:案内文だとわかるが、パッとみて募集していることが分かるようにすれば、文章も読むのではないか。内容は分かりやすい。集合日時が2パターンある中で、平日夜の時間帯はないのか。平日の夜が参加しやすい人もいると思う。

事務局：たたき台なので夜もありえる。

副委員長：子育て系の団体であれば平日の午前になる。

委　員：どちらに重きを置くかだ。

副委員長：前回の会議で子どもが成長した時に街がどうなっているかも視野に入れて欲しい等の意見が出ていたので、子育て中のお母さんも対象になることも考えられる。「みんなの夢叶え隊」はダジャレだが、2月のチラシ講座に参加した時ダジャレは良くないと聞いた。

委　員：「自主企画委員会」では固いので外した方がよい。

副委員長：上4行が下の文章と重複している。

委　員：重複はするが上の4行は良いと思う。下の文が上に来るより読みやすい。

委員長：登録団体に向けたものなので、ゆめこらぼの新しい試みで気を引くことはできるのではないか。募集をしていることを理解できるのではないか。

委　員：タイトルやキャッチで募集があればよいのではないか。10周年が唐突なので、つなげ方を工夫してはどうか。このままでも悪くはないが、編集とキャッチの力は必要だ。

委　員：新しい試みを言いたいのか、参加を募集しているのかがわかりにくいのでそこははっきりさせると良い。

委　員：メンバーが増えても減ってもOKはどういうことか。
事務局：最初の募集で集まった人で固定するのか、後から入りたいという人がいても良いのかルールを決めたい。解散時期もルールを決めていきたい。
委　員：毎月開催しながら、なんとなく仲間ができた時点でもう少し詳細なスケジュールができていくイメージか。
事務局：今年度大きな事業ができなくても来年度に引き継いでも良いとも思う。
委　員：ある程度話し合っていく中で、今年度中に1つやってみるとか目標があると形になりやすいのではないか。
事務局：今年度に実施できなくても、計画の中では会場費や講師代等、2回分の予算は用意している。
委員長：実施は平日昼間組で1回、土曜組で1回というイメージか。
事務局：決めていないが、できれば一緒に開催できないかとイメージしていた。分かれても構わないと思う。メーリングリストを利用しての情報を共有でもよい。
委　員：コーディネーターなどがいないとまとまらないのではないか。ファシリテーターの予算はあるのか。
委　員：予算をつけているのは事業費なので、話合いの場に予算はついていない。メンバーに運営委員も入るのでファシリテーターはお願いしたい。
委　員：進め方のイメージはどのようなものか。みんな集まって一人一人に意見を言ってもらうのか、ワークショップ形式で意見を出し合いマッチングをしていくのか。
事務局：進行の方法だが、団体のニーズを拾えるような話し合いの場を持つことが良いのではないかと考えている。
委　員：それをコーディネートする方法が必要だ。自分の想いをきちんと表明できる場がないと人の意見を聞くだけで終わってしまう。運営も考える必要があると思う。つなげていくコーディネートが必要なので、慣れている方がいないと難しいのではないか。
委　員：時間は平日16時と土曜10時で決定か。2回開催ということはターゲットを考えてのことか。
事務局：前回平日と土曜だったので、ターゲットも考えてのことだ。
委　員：子育て中のお母さんたちや主婦の方と働いている人がターゲットであれば、平日午前中と土曜の午後のイメージで良いのかと思うが。
委員長：毎月スケジュールを合わせるのは大変だと思う。このペースでファシリテーターを頼むのであれば、時間的に調整が難しくなる問題も出てくる。
副委員長：平日開催月と土曜開催月にすることも考えられる。
委員長：チラシ案も含めて次回も議論を続けたい。

4. そ　の　他

1. 次回運営委員会日程について

　日時：7月17日（火）19時～20時

　会場：イングビル3階　第1,2会議室